

# 9月10日は下水道の日

## 下水道管も歳をとる 老朽化から下水道管を守ろう!

下水道管は、一度整備すれば永久に使えるというものではありません。年月を重ねるごとに破損する可能性が高くなります。立川市の下水道管の一部は、標準耐用年数である50年を超えています。引き続き、市民生活を守るための対策に取り組んでいきます。

☎下水道管理課・内線2200

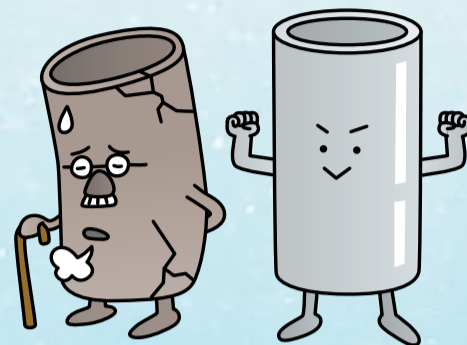
### 下水道が老朽化し、壊れるとこんなことに…

- 汚水※を流すことができない
- 道路上に汚水が溢れる
- 流れ出した汚水で河川が汚れてしまう

※トイレ、お風呂などで使った汚れた水



僕たち下水道管が壊れると、街が大変なことになっちゃう。そうならないために、日々、下水道のスペシャリストたちが頑張ってくれているんだ!

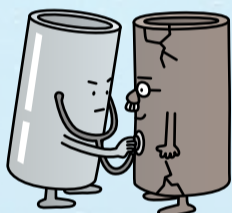


### そこで…

市は、下水道管の老朽化を防ぐための対策に取り組んでいます。点検、調査を行うことで、下水道管の状態を確認し、下水道管を守る(維持管理)、下水道管を直す(改築・修繕)などの対策をしています。

### 守る

定期的に点検を行い、壊れていないかを確認しています。また、下水道管の中にたまった泥やごみを掃除することで、詰まりや悪臭を防ぎ、常に下水道管をきれいに保っています。



### 👉 スーイスイ分かる下水道管マメ知識

#### 細い下水道管は、どう点検してるの?

下水道管は太さがさまざま、人が入れないような細い管もあります。そういった細い管の点検は、専用のカメラを使って、パソコンで確認しています。

### 直す

下水道管の内側の補強や消耗した部品の交換などで下水道管を補修しています。道路を掘り、古い管を撤去して新しい管を埋める方法など、下水道管の直し方には、いくつか種類があります。



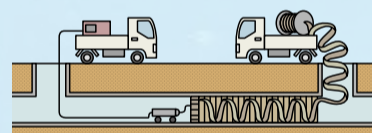
### 👉 スーイスイ分かる下水道管マメ知識

#### 立川市ではどうやって下水道管を直してるの?

市は主に「更生工法」というやり方で、下水道管を直しています。老朽化した管の内側に新しい管(更生管)を作り、古い管とくっつける方法です。



既設の下水道管の内側に作られた更生管



更生工法

## 下水道を守るために市民の皆さんにお願いしたいこと

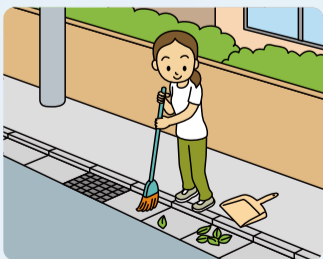
### ①油を流さないで

料理などに使用した油をそのまま家の排水管へ流すと、その油が下水道管まで流れ込み、悪臭や詰まりの原因になってしまいます。油は新聞紙に吸わせるなどして、ごみとして処理するようにしてください。



### ②雨水ますの周囲はきれいに

浸水の危険があるので雨水ますや側溝の上に物を置かないでください。また、普段から雨水ます周辺の清掃をお願いします。ごみを捨てることも厳禁です。



### ③雨水浸透施設を設置しましょう

市は、地下水のかん養による水循環の保全や下水道への負担の軽減のため、雨水浸透施設(下写真)の設置を建物の新築や建て替え時にお願いしています。また、既存住宅に雨水浸透施設を設置する個人を対象に補助金制度を設けています(上限20万円。付帯工事を含む)。なお、助成を受けるためには一定の条件があります。くわしくは、市ホームページ(下2次元コードからアクセス可)をご覧ください。

#### 助成対象施設



雨水浸透管



雨水浸透ます



☎下水道管理課排水設備係・内線2212